

きょうも、あなたと
名鉄バス

安全への道は、健康とともに



1. 健康宣言



名鉄バスでは、一般乗合事業を基幹とし、「お客様満足・地域貢献・提案型経営」の3つの柱を経営方針と考え、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、安全輸送を最優先にした事業の運営を図ります。

地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指すには、従業員等への健康投資が将来的に企業の収益性を高めると考え、健康管理を経営的視点から戦略的に取り組んでいきます。

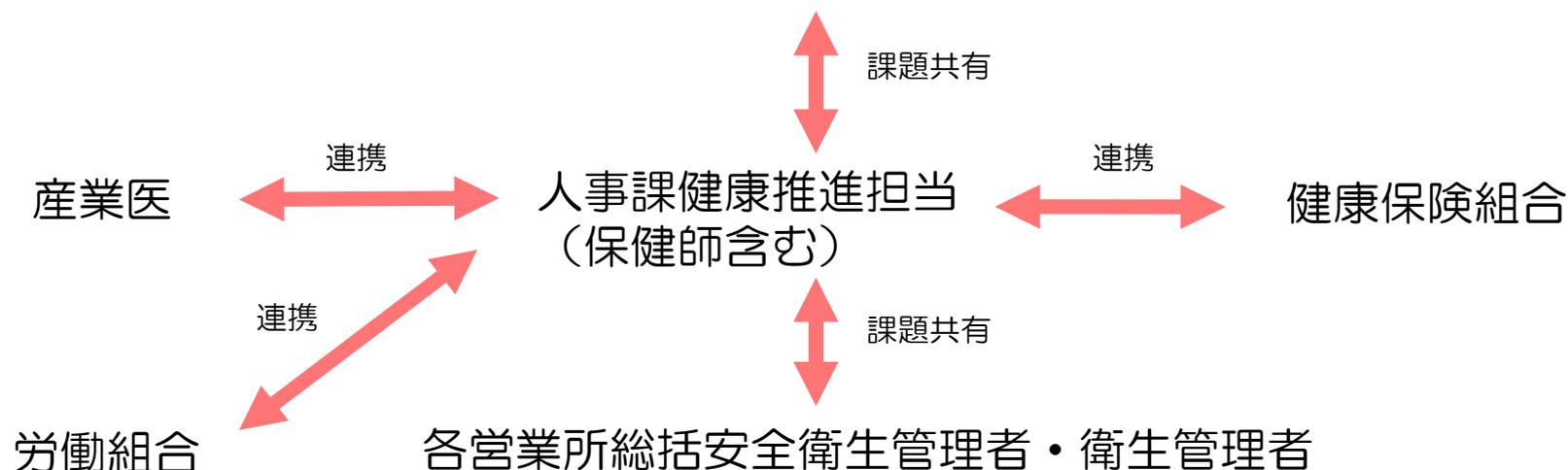
これにより、従業員の活力向上や生産性の向上で組織が活性化することで、結果的に業績向上や企業としての価値向上に繋がると考えます。



2. 健康経営推進体制

人事担当役員を推進責任者とし、産業医・人事課健康推進担当・健康保険組合・労働組合と連携して健康課題の分析を行い、実効性のある健康施策に取り組んでいます。

人事担当役員（健康経営推進責任者）





3. 主な健康施策

健康診断の実施

国土交通省・厚生労働省ガイドラインへの対応

メンタルヘルス対策

その他

健康診断の実施

投資額：8,010千円

当社では、年1回定期健康診断を実施し、深夜業務従事者には指定業務健康診断を実施しています。

健診結果に基づき、産業医による就業上の措置の決定、保健師によるデータ管理・保健指導を行っています。

また、健診結果において医療機関での受診を指示された者については、早急に受診を促し結果を書面で確認しています。

受診が滞っている場合には、産業医や保健師から受診勧告を行い、健康状態の悪化防止を徹底しています。

40歳以上は5年ごとに人間ドックの受診費用を会社が補助しています。
上記の人間ドックの受診率は100%です。

国土交通省・厚生労働省ガイドラインへの対応

脳疾患検査

投資額：6,650千円

上記の人間ドックに脳ドック（脳MRI・頸動脈エコー）を付加しています。さらに、40歳未満の高速乗務員と高齢乗務員についても脳ドックを実施しています。

<MRI>



視野障害対策

人間ドックにおいて、眼科検査で要精密検査を指示された者については、受診勧奨し、結果を書面で確認しています。

国土交通省・厚生労働省ガイドラインへの対応

睡眠時無呼吸症候群の検査及び治療補助

投資額：7,073千円

全乗務員に対し、3年毎に睡眠時無呼吸症候群の簡易検査を実施しています。簡易検査の結果に応じて、精密検査を実施しています。またCPAP治療者に対しては、保健師が治療状況を確認するとともにCPAPにかかる治療費を会社が補助しています。

<簡易検査>



<CPAP>



国土交通省・厚生労働省ガイドラインへの対応

心疾患検査

定期健康診断の結果、各種学会のガイドラインに基づき、必要に応じて受診勧奨し、結果を書面で確認しています。

高年齢労働者対策

高年齢労働者に限らず、誰もが安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害の予防的観点から事業場毎に取り組み計画を策定し、労働災害を防止する取り組みを進めています。



メンタルヘルス対策

支援体制

保健師による相談窓口を設置し、いつでも相談ができる体制を構築しています。

メンタルヘルス教育

階層別の研修や安全衛生委員会等を利用し、メンタルヘルス教育を実施しています。

ストレスチェック

投資額：770千円

50人未満の事業場でもストレスチェックを実施しています。
ストレスチェックの集団分析結果を活用し、快適な職場環境づくりを目指しています。

復職支援

復職前に体調を確認し、所属長や人事労務、産業医と復職プログラムを検討しています。復職後も再発予防のためのフォローを実施しています。

その他

がん対策

定期健康診断の際に便潜血検査、人間ドックでの胃カメラ、婦人科健診の必要性を説明し、受診を促進しています（健康保険組合と共同実施）。

感染症予防

投資額：2,824千円

従業員だけでなく、その扶養家族もインフルエンザの予防接種費用を補助しています。マスクやアルコール手指消毒剤等を常備しています。

健康管理ブース整備

投資額：1,241千円

各事業場に体重・血圧を測定できる健康管理ブースを整備しました。

その他

女性の健康管理

毎月、女性従業員向けに健康情報を提供しています。
女性の働きやすい環境整備のため、女性だけでなく、管理職を対象に健康セミナーを開催します。

保健師による健康相談

定期的に事業場を巡視し、職場環境の確認、改善指導を実施しています。
また、健康診断後の保健指導等を行っています。

安全衛生委員会の設置

安全衛生委員会にて健康に関する情報発信を行い、健康管理の強化を図っています。
また年に1回、全社安全衛生委員会を開催し、産業医による講話等を行っています。



4. 職場環境・働き方に関する 取り組み

従業員感謝祭
クラブ活動支援

従業員感謝祭

投資額：3,140千円

年に1回、感謝の意を込めて、日頃の安全運行を担う従業員とその家族を招待しています。



クラブ活動支援

投資額：39千円（コロナによる活動縮小あり）

健康増進、従業員同士の交流やコミュニケーションを図る目的として、業務外で行う活動に対して活動費の一部を補助しています。





5. 健康経営の具体的な取り組み

取り組みを始めるきっかけになった課題

- ①健康上の問題は健康起因事故のリスクとなること
- ②慢性的な乗務員不足

期待する効果

- ①安全輸送を確保すること
- ②従業員の定着率の向上、応募者の増加
- ③長期欠勤者の減少
従業員が高齢期になっても活躍できる心身の健やかさを保つこと

安全への道は、健康とともに

取り組みの背景

肥満は睡眠時無呼吸症候群(以下、SAS)の原因の1つです。SASは集中力の低下や居眠り運転のリスクが上昇するため健康起因事故撲滅のためには重要な健康課題となっています。

近年、当社のSAS治療者は増加しているため肥満対策は喫緊の課題となっています。

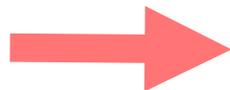
また、肥満による生活習慣病の発症により病気休養を原因とする乗務員不足が経営課題となっていました。

取り組みの目標

BMI25以上の肥満者の割合

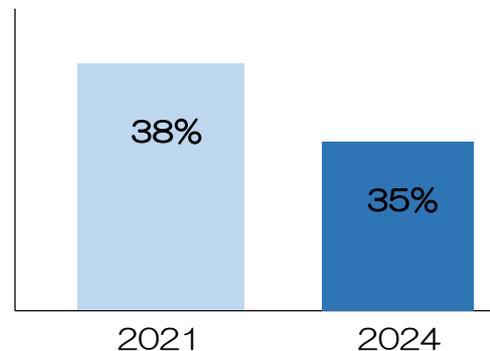
2021年度

38%



2024年度

35%



取り組み内容(1)健康管理ブースの整備

全事業場の休憩室に業務用精密体重計を設置し、健康管理ブースを整備しました。体重測定の実践化を促すことによって、生活習慣の改善・自己管理のきっかけとし、体重増加を抑制、適正体重へ近づく会社風土を醸成することにつながりました。肥満による生活習慣病発症を防止し、長期欠勤者の減少を目指しました。



取り組み内容(2)体重測定習慣化キャンペーン

健康管理ブースで測定した体重を各自のスマホから入力フォームに登録することで「体重測定の回数が見える化」する体重測定の習慣化キャンペーンを計画しました。「勤務初日に体重測定」をスローガンに定期的に体重を測ることを促しました。また、チーム対抗でのインセンティブキャンペーンを実施することにより、お互いに声掛けをするなど職場の活性化にもつながりました。体重測定の習慣化キャンペーンへの参加率は71.7%でした

チームみんなで

体重測定の習慣化

知らない間に体重が増えている!という心配がないよう
定期的に体重計に乗りましょう。

取り組むこと

- ① 体重を測る
- ② QRコードの入力フォームから今日の体重を登録する

勤務初日～第2公休までの
6日間に1回以上行う
→ 条件達成!

・家で測った数値を登録してもOK
・体重の数値は、公開されません。

4/10～定期的に
チーム・営業所毎の条件達成率を発表します

体重の登録はこちらから



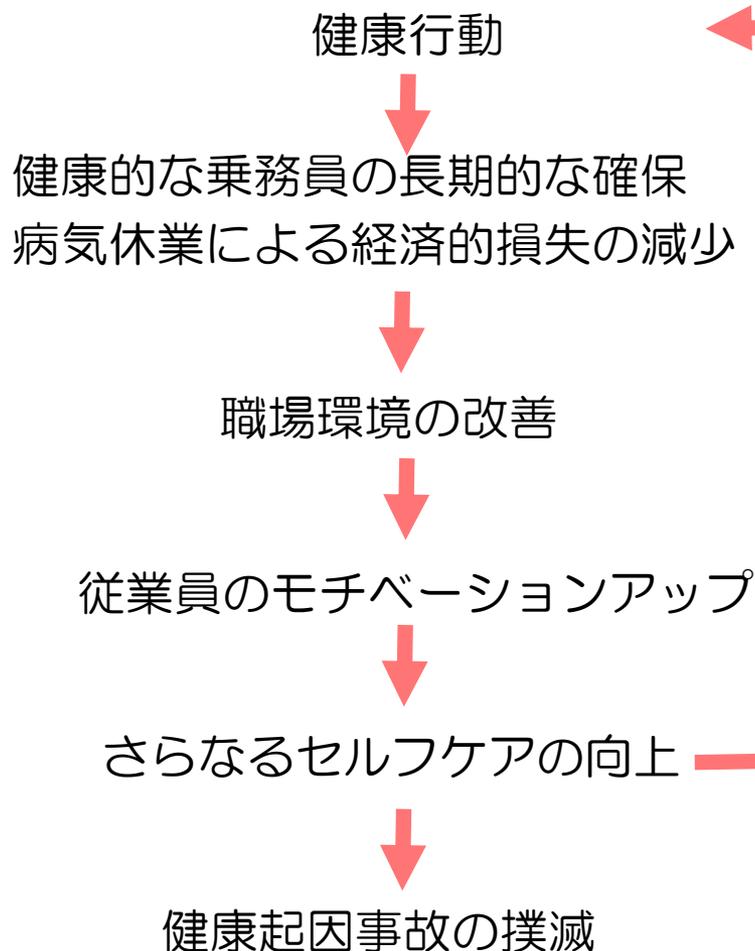
氏名コード、漢字氏名は正確に登録
測定した当日中に登録をお願いします
登録日の変更・修正はできません。

チームで声をかけ合おう!
勤務初日に体重測定、ヨシッ!

5月・6月場所 体重測定習慣化 番付 結果発表				
習慣達成度	東	番付	西	習慣達成度
88.06 8回優勝	4班 B チーム	横 綱	4班 A チーム	83.62 3回優勝
77.50 4回優勝	6班 B チーム	大 関	5班 A チーム	79.54 3回優勝
73.63	5班 B チーム	関 脇	2班 A チーム	66.71 1回優勝
58.94 1回優勝	1班 B チーム	小 結	6班 A チーム	60.00 1回優勝
56.34	2班 B チーム	前頭筆頭	3班 B チーム	53.35
42.21	1班 A チーム	前頭二	3班 A チーム	49.22
81.24	8班 チーム	前頭三		

上記の達成率は12チームまでの記録を参考にしています

今後の展望 ～当社のめざす健康管理～



健康経営のサイクルがまわるようにDXを活用し、『安全への道は、健康とともに』をスローガンにさらなる取り組みを進めます。



6. 健康経営の成果

健康経営の指標

さらなる取り組みを通じて、健康で長く働けることができる企業を目指します。

	2021年度	2022年度
1.健診受診率	100%	100%
2.運動習慣者比率	49.8%	50.7%
3.適正体重維持者率	59.0%	58.7%
4.インフルエンザ予防接種 接種率	42.0%	38.2%
5.定期的な体重測定者率	74.2%	71.6%
6.定期的な血圧測定者率	40.6%	40.1%